

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成21年2月19日 (2009.2.19)

【公表番号】特表2008-526873(P2008-526873A)

【公表日】平成20年7月24日 (2008.7.24)

【年通号数】公開・登録公報2008-029

【出願番号】特願2007-550477(P2007-550477)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/28 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 1/16 (2006.01)

A 6 1 K 47/18 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 K 47/04 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/28

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 1/16

A 6 1 K 47/18

A 6 1 P 43/00 1 0 5

A 6 1 K 47/04

【手続補正書】

【提出日】平成20年12月24日 (2008.12.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

薬学的担体中に少なくとも 1 つの細胞毒性金属および少なくとも 1 つの掌性 α - 有機酸の金属配位錯体を含む組成物。

【請求項 2】

前記掌性 α - 有機酸が酒石酸、リンゴ酸、または乳酸である、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 3】

さらに、少なくとも 1 つのアミノ酸を含む、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 4】

さらに、少なくとも 1 つの DNA 挿入剤、少なくとも 1 つの脈管形成阻止剤、または両者を含む、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 5】

前記薬学的担体中に銀 (I) - 掌性 α - 有機酸配位錯体を含む、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 6】

腫瘍細胞と接触させ腫瘍細胞にアポトーシスを誘発する、薬学的担体中に少なくとも 1 つの細胞毒性金属および少なくとも 1 つの掌性 α - 有機酸の金属配位錯体を含む組成物からなる腫瘍細胞のアポトーシス誘発剤。

【請求項 7】

下記工程を含む、請求項 5 に記載の銀 (I) 掌性 α - 有機酸配位錯体を製造する方法；

(a) 少なくとも 1 つの無機酸を水溶性溶媒に添加して、pH 2.0 またはそれ以下であ

る溶液を用意し、次いで、

(b) 工程 (a) 後の溶液に、少なくとも 1 つの界面活性剤を添加し、次いで、

(c) 工程 (b) 後の溶液に、少なくとも 1 つの掌性 α - 有機酸を添加し、次いで、

(d) 工程 (c) 後の溶液に、少なくとも 1 つの銀 (I) 塩を添加し、その際、掌性 α - 有機酸と銀 (I) 塩からの塩 (I) が相互作用して、銀 (I) 掌性 α - 有機酸錯体を形成する。

【請求項 8】

下記工程を含む、請求項 1 記載の細胞毒性金属掌性 α - 有機酸配位錯体を製造する方法；
(a) 少なくとも 1 つの無機酸を水溶性溶媒に添加して、pH 2.0 またはそれ以下である溶液を用意し、次いで、

(b) 工程 (a) 後の溶液に、少なくとも 1 つの界面活性剤を添加し、次いで、

(c) 工程 (b) 後の溶液に、少なくとも 1 つの掌性 α - 有機酸を添加し、次いで、

(d) 工程 (c) 後の溶液に、少なくとも 1 つの細胞毒性金属を添加し、その際、掌性 α - 有機酸と細胞毒性金属が相互作用して、細胞毒性金属掌性 α - 有機酸錯体を形成する。